

鈴鹿市立天栄中学校 第2回学校運営協議会 報告書

1 日時 令和6年6月14日（金）午前9：00～11：30

2 場所 天栄中学校被服室（参観は各教室）

3 委員長あいさつ

- ・5月31日に、副委員長と研修会に参加した。学校運営協議会は法で定められている組織として自立していることを学んだ。
- ・組織として合意したことは責任が生まれる。当事者意識をと、気持ちが引き締まった。
- ・昨年度出した駐車場についての要望に対しても、回答を求めたい。

4 授業参観

- *各学年担当職員が同行し、授業を参観した。

5 授業参観について（感想・質疑応答）

- *以前とは違って、今の生徒は、授業で友達と判別でフランクに話せている。いい雰囲気です学習できている。

- *非常にグループでの授業が多かった。その狙いは何か。これからグループでの学びが増えていくのか。

A. 今の子供たちは、つながっていく力、コミュニケーション力が必要だが苦手な子も多い。グループを活用して育てている。また、以前は教師が教える授業だったが、いかに学ばせるかに変化している。子供たちが自分たちで学ぶ授業が求められている。

- *苦手な子に対するケアは。

A. 今年の研修のテーマである。教科によって苦手な子どももいるので、教師が見逃さずに関わる。子供たちが支え合えるようになることが目標である。グループが多すぎると、それが辛いと思う生徒もいるのではないか。

- *今の現状で、不登校の原因になっているのか。

A. グループでの学び合いが原因という子どもはいない。

- *学校としてどのように認識しているか。そのことに対してどのような対策・支援をするのか。素晴らしいことだと思うが、過渡期なので、こどもの辛さを出せるようにする配慮が必要。

A. わからないことを大切にして授業を展開していく必要がある。

- *いじめ川柳は、いじめられていた子どもへの配慮も必要ではないか。どういう考えで行っているか。

- *グループ学習で助け合っている姿が見えた。グループづくりの時に、苦手な子をフォローできる子を。言えない子がいるときに代わって言うなど、苦手な子を作らないようにするとよい。特支の子が楽しそうでよかった。

- *話し合っているグループと、下を向いて自分のことをしているグループへのフォローは。今までの勉強で身に付けていた知識が身につかないままの子どもがいるのでは。

A. 教科書に載っている知識を押しやる課題と、発展的な課題に取り組む場面を設定してい

る。

A. グループは話し合うのが「目的」ではない。一人一人の学びになることが必要。一斉授業だと、席も離れていて訊けない。グループで訊き合える。

A. グループだけれど個人で考えていても良い。

*グループに分けるときに、苦手な子ばかりだと分からないままでは。

A. 前向きで授業をしていると、特に苦手な子の表情が曇る。教師のケアが行き届かない。グループでの学び合いで身につく。

*ロッカーが汚い。

*想像力のある子の特性もあるのでは。色々なことに裏表があるので、教師が考えていることを学んでくと良い。学力面でも全体的に高まっているのは取り組みの成果。

*グループでは、友達と話し合いながら考えている。これからはコミュニケーション力が求められている。グループでの学び合いは大切。高度な課題への取り組みも良い。校内に危険なものが置いていないかを見ていたが、なくて安心した。

*不登校は、原因がわからないもの。今は、「学校に行かなくても良い」という風潮。不登校になった子に対してどのように関わるか。それぞれによって異なる。教師の、ファシリテーションに対する意識・技量の違いがあると思う。グループワークを実施する場合に、チームティーチングを推奨したい。人間関係が固定すると問題。コミュニケーションは必須。いろいろと考えながら取り組んでもらえるのではないか。

*我が子が社会に出て、さまざまな人がいることを実感。中学校でのさまざまな仲間との出会いがあって良かったと振り返っている。グループでの「少し頑張ったらできた！」が良い。仲間に入れなかったときに、教師の関わりによって乗り越える経験ができる。教師の負担はどうか。

*小学校の特別支援学級に在籍していた生徒に会った。出会ったときに目であいさつを返してくれた。

A. 1～2か月で席替えをしている。グループによって関わりにくさを感じる子供もいる。

*困り感を届けられるとよい。

6 報告・協議事項

(1) 学校の様子（各学年担当より）

3年

- ・修学旅行が終わって、期末テストに向けて頑張ろうとする姿が見られる。7月の最後の大会に向けて取り組む姿も見られる。
- ・グループの学び合いでは、気兼ねなく訊ける姿の一方、自分自身でも取り組もうとする力も大切である。

2年

- ・体育祭は団結する機会になった。社会見学に向けて学年・クラスで取り組んでいる。
- ・素直で、可愛い姿が見られる。取り組みの中で、室長の呼びかけに素直に返している姿。
- ・子どもたちから「グループにしたい」という声が上がっている。テスト勉強でも自

分たちで学んでいる姿がある。

- ・不登校については、体育祭・社会見学に対する不安を感じる子どももいるので、働き掛けている。

1年

- ・入学して2か月間、行事等で慌ただしかった。ようやく落ち着いて過ごせる時期になった。中学生らしい生活はこれから。テストに向けての取り組みで中学生らしさが見られるように。

(2) 教育活動について（学校長）

*修学旅行のバスの遅延

*廃品回収 P T A ・職員・生徒が参加して実施

*体育祭 W G B T 最大25 心配していたよりスムーズに実施できた。

*校区あいさつ運動 稲生小も加わった 良いコミュニケーションの機会に

*授業公開ウィーク 教職員同士観合って授業改善へ

13日 研究授業2学級 指導主事招聘 不登校対策も進めていく

*ノーメディア スマホ使用を控える（自分も、相手も 時間を取らない）

*社会見学 名古屋方面 地下鉄利用し班別学習

*小6中学校授業参観 6月21日（金） 稲生小を除く4校児童が参加

*壮行会 中体連 7月第1週から開始

*夏休み授業日

(3) 幼小中連携教育

①児童生徒交流 9月 校区4小合同学習 レクリエーション 合唱

②教職員研修 8月 校区教職員夏季合同研修会 非認知能力育成 不登校対策

《質疑応答》

*修学旅行トラブルへの教職員の対応 どうしてもらえれば不安なく過ごせたかを考えられるか。

*修学旅行では、名古屋駅でどれくらい待ったのか。日差し除ける場所がなく気分が悪くなった生徒もいると聞く。

A. 約1時間待機した。

*電車を利用したらよいのでは。

A. 昨年度は白子駅発だった。

*電車もトラブル発生の場合がある。

*何かの行程を立てるときに何を考える必要があるのか、など学ぶ機会にもあるのではないか。

(3) 意見交換

*10月の拡大学校運営協議会の内容は決まっているか。

A. 非認知能力育成について、協力してほしいことなどである。

* 2年後に迫っている新しい小学校、その後の義務教育学校の予定がある中で、統合についても取り上げていく必要がある。話し合う唯一の機会ではないか。

* 今後の天栄中校区のことを話し合う必要があるということではないか。

* 今まで学校運営協議会で話を聞いたことがない。

* 市として決めているが、地域としてわからないまま決まっているのは、問題のある市と捉えられるのではないか。

* 決まって進んでいく中で、今後どうなるのか、前もって説明が必要ではないか。

* 学校運営協議会の位置づけはどうか。

* 学校運営協議会は教育支援課、統合は教育政策課なのか。

* 郡山小では学校運営協議会に説明はなかった。

* 全体で話を聞く機会は設けられないか。

A. 校区校長会で話し合わせてほしい。

* 稲生小校区の思いが聞こえてこない。稲生小学校区からの生徒の割合が大きいが。

A. いずれか、拡大で話を聞く機会があるとよいということか。

* 話がリアルタイムで共有されていないことが問題。準備委員会の議事録がHPに上がっていることが周知されていない。メール配信で周知した小学校もあるが。

* 合意形成すらされていない。

* 現状を知ることができるようにしてほしい。

* 課が違うかもしれないが、教育政策課に来てもらって説明してもらえると良いのでは。

* せっかく協力しているのに、時間が経てば経つほど問題が難しくなってしまう。以前、校区ネットワーク会議で、教育政策課から、学校規模適正化について説明があったが。

* それ以降、説明がない。

A. 何らかの形で取り入れる。

7 CS推進コーディネーターより

* 教員と一緒に参観できたことは初めて。話し合いながら回れたのがよかった

* 子どもたちにかかわっている教員に、直接話を聞くことができよかった。

* 以前からの一斉授業の課題に対する取り組みとして、天栄中として「学び合い」を進めている。ここで出てきた課題を持ち帰って、研修の中で話し合ってもらいたい。

* 駐車場の件を教育政策課に確認したところ「候補がいくつかある」とのこと。随時、情報提供をしていきたい

* 統合の件も、教育委員会内で共有する。意見を出していただければ、何らかの回答ができる。

8 その他

・次回（第3回）天栄中校区拡大大学校運営協議会

日時 令和6年10月3日（木）15：00

場所 栄小学校体育館